

ビール大麦技術資料 12月号

令和4(2022)年12月22日
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ①2.5葉を過ぎたら、麦踏みを始めましょう！
- ②生育の状況を観察し、確実に麦踏みの実施を！
- ③湿害対策を実施しましょう！

1 生育概況と気象の経過（小山市アメダス）

平年に比べて11月は気温が高く推移しましたが、中下旬以降は降水量が多く推移しました。12月に入ると気温が低く推移しました。

そのため、適期に播種したほ場では11月の温暖な気候により生育が進んでいますが、11月下旬以降に播種したほ場では生育がやや遅れています。

ほ場ごとの生育状況をよく確認して麦踏みを始めましょう。

	11/1-15	平年差・比	11/16-30	平年差・比	12/1-15	平年差・比
平均気温	13.0℃	+1.0℃	11.8℃	+2.7℃	6.5℃	-2.1℃
降水量	6.5mm	20%	48mm	152%	15mm	114%
日照時間	100.4時間	100%	68.9時間	85%	79.7時間	34%

※参考 ビール大麦の生育調査（12月19日）

11月10日播種の栃木市ほ場では、苗立ちは平年並、茎数は平年に比べ多い結果でした。

2 気象庁の1か月予報（12月22日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	向こう1か月 12/24~01/23	40	40	20
		1週目 12/24~12/30	40	40	20
		2週目 12/31~01/06	60	30	10
		3~4週目 01/07~01/20	30	40	30
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 12/24~01/23	50	30	20
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 12/24~01/23	20	30	50

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

1月上旬は気温が低くなる予報です。

麦踏みのときは、霜が溶けてほ場が乾くまで待ちましょう！



3 これからの栽培管理

◎湿害対策を実施しましょう

近年は短期間にまとまった雨が降ることが多くなっています。
ほ場に長時間滞水してしまうと湿害が生じます。

外部の排水路としっかり連結して、ほ場排水に万全の対策をしましょう！

早いうちに排水溝（明きょ）を設置し、必ず排水口を排水路に繋ぎましょう。
すでに排水対策を行っているほ場でも、排水口がほ場外の排水路に繋がっているか確認しましょう。



幅広で深い額縁明きょ



明きょを排水路に繋ぎ
確実な排水対策を！



◎麦踏みを始めましょう

ほ場ごとに生育にばらつきが出ているため、しっかり葉齢を確認して麦踏みを行ってください。

2.5 葉前に行うと、葉を切ってしまうとその後の回復に時間がかかる等、悪影響が起こる場合があります。

麦踏みには過剰生育を抑制しながら、分けつを旺盛にし、根張りを深くする効果があります。また、霜柱による凍上害を防止します。

目安 4~5 回

- 1 回目・・・2.5 葉期以降
- 2 回目以降は前回の麦踏みの2 週間後
- 最後・・・茎立ち期直前



2.5 葉過ぎたら麦踏み可能です！

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>